

デジタルによる創発・共創のマッチングプラットフォーム「YOKOHAMA Hack!」 「防犯灯維持管理の業務効率化に向けたデジタル技術の活用」に向けた 実証実験を完了しました

このたび、「YOKOHAMA Hack!」を活用し、防犯灯維持管理の業務効率化による市民サービスの向上を目指して、株式会社パスコ(東京都目黒区)と令和5年8月から進めてきた実証実験(令和5年8月1日記者発表)が完了しましたので、実証実験の結果についてお知らせします。



実証実験について

<防犯灯の維持管理の業務効率化に向けたデジタル技術の活用>

横浜市が維持管理する LED 防犯灯は市内に約 18 万灯あります。防犯灯の維持管理には複数のファイルデータと地図を参照する必要があり、これまで一元化や情報の検索・特定と更新・分析に時間と手間がかかっていました。これにより地域住民からの通報対応に時間がかかるなどの課題がありました。

そこで、防犯灯のファイルデータを一元管理し、業務効率化による市民サービスの向上を目指して、株式会社パスコの統合型 GIS「PasCAL for LGWAN」を活用した実証実験を実施しました。

本実証実験では、次の内容を検証しました。

実証実験
概要



(※1) 地域住民からの通報対応時の防犯灯の特定と事業者への灯具交換等保守の依頼
新規設置や保守作業による防犯灯の管理情報の更新

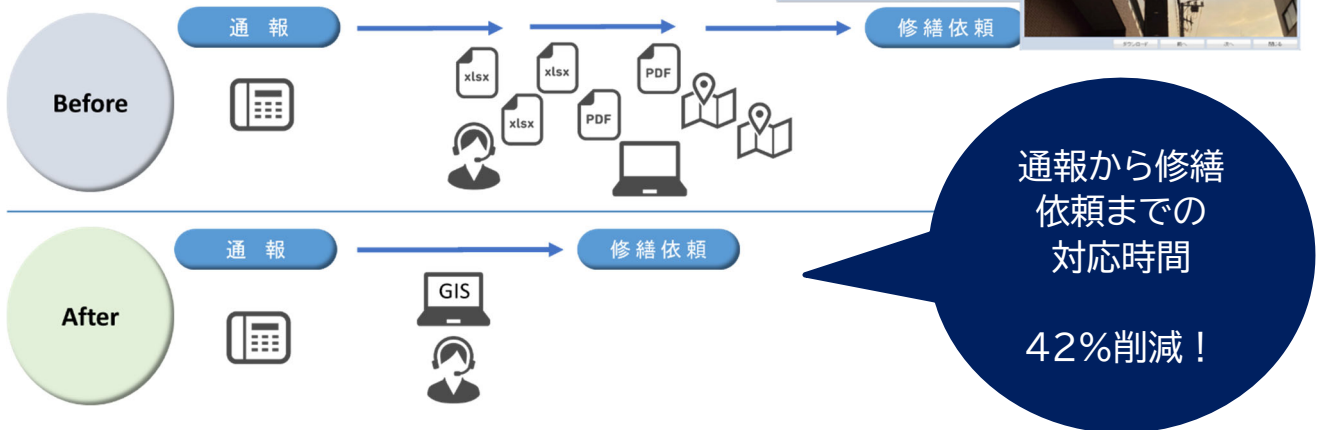
(※2) 職員による防犯灯の現地確認業務の利用に有効な手法の実証

実験結果

- ①統合型 GIS に
 - ・管理に必要な情報(設置場所、管理番号など)を集約、再整理し、取込
 - ・「防犯灯管理帳票」を作成
 - ②内部業務や現地調査業務にて実験的に使用
 - ③定量的効果と期待される定性的効果を検証
- ✓定量的効果
- ・「市民通報に対応し、保守事業者に修繕依頼する業務」にフォーカスし試算
 - ・煩雑な現在の業務手順について GIS を使うことで単純化した結果、通報から修繕依頼までの対応時間が全体で **42%削減**



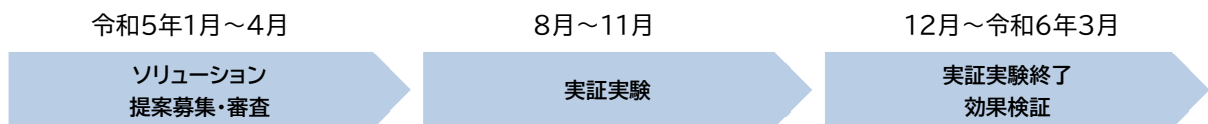
<イメージ>



- ✓期待される定性的効果
- ・防犯灯の配置が可視化され現状把握が容易になる → 適正配置の促進
 - ・記録の蓄積と集約により迅速な対応が実現 → 市民サービスの向上

→今後の安定的で効率的な防犯灯維持管理手法への転換を後押しする成果に!

今回の実証事業の流れ



YOKOHAMA Hack! 公式サイト

「YOKOHAMA Hack!」公式サイト: <https://hack.city.yokohama.lg.jp/>



お問合せ先

実証実験に関すること 市民局地域防犯支援課長 丹羽 仁志 Tel 045-671-2601
YOKOHAMA Hack! に関すること デジタル統括本部 デジタル・デザイン室長 洲崎 正晴 Tel 045-671-4761